

1 既往資料の整理

事項	整理内容	実施時期	備考 (資料4)
既往調査結果の整理	既往資料からのボーリング調査結果等の情報収集・整理により、地質縦断図や風化状況の分布図の作成、鋼矢板の有無・深度・岩着状況の確認、水みちの位置・規模の推定等を行う	実施中	

2 追加の調査内容と実施時期（案）

事項	調査箇所	調査方法	調査目的	実施時期 (予定)	備考 (資料4)
①漏水の状況	①-A	ボーリング調査(基礎岩盤の確認、標準貫入試験、カメラ撮影)	岩盤線、透水性層、水みち(空洞)等の確認のため	実施中	①-1
	①-B	魚道底板の削孔調査、簡易貫入試験、カメラ撮影	底板下部の空洞の有無等の確認のため		①-2
	①-C	トレーサー試験(比重1ボール流下調査等)、水中カメラ、ロボット(漏水探査ロボットダミー)	流入部分から流出部分までの水みちの位置・延長等の確認のため	出水期・水位低下時	
	①-D	上流・下流エプロンの空洞、流向・流速の調査	エプロン直下の空洞の有無、深さ、範囲等の確認のため	出水期・応急対策の矢板締切り後・水位低下時	
	①-E	レーダー探査(魚道横の張コンクリート下)	法面の張コンクリート下の空洞の有無、深さ、範囲等の確認のため	出水期・水位低下時	
	①-F	水中3Dスキャナ	堰位置における漏水箇所(空洞)の穴の大きさ、方向の確認のため	出水期・水位低下時	
	①-G	下流堆積土砂のサンプリング	噴出土の土質(性状)調査のため	出水期・水位低下時	
②堰本体の状況	②-A	レベル測量(堰柱(P1, P2)、橋台、洪水吐堰体)	構造物の変形の確認のため	実施中	②-1
	②-B	堰柱(P1, P2, P3)の傾斜測定(傾斜計)	堰柱の傾きの確認のため		②-1
	②-C	エプロン表面の状況調査(目視、ドローン)	エプロン表面の健全性の確認のため		
	②-D	堰上下流の水理計算	エプロン表面の健全性の確認のため		
	②-E	振動計測(P2)	構造物の状態変化の把握のため		
	②-F	レーザー測量	広範囲の護床工や堆積土等の水中地形も含めた地形変化の把握のため	出水期・水位低下時	



調査内容と実施時期（案）

事項	調査箇所	調査方法	調査目的	実施時期 (予定)	備考 (資料4)
③堰付帯工の 状態	③-A	レベル測量(魚道、護岸)	構造物の変形の確認のため	実施中	③-1
	③-B	音響探査(護床工)	流出部分の状態の把握のため		③-2
④止水の状況	④-A	磁気探査(鋼矢板の有無・深度の確認)	鋼矢板ラインの直近のボーリング孔を利用した、鋼矢板の有無・深度・岩着しているか確認のため	出水期・水位低下時	
	④-B	掘削して、空洞の位置・範囲や鋼矢板・止水板の位置・状態を確認(取壊し調査)	堰位置における空洞の位置・大きさ・範囲や鋼矢板の位置・状態(腐食等)の確認のため	非出水期	
⑤その他	⑤-A	上流水位(右岸:水位計、左岸:測量)	基本的なデータ収集のため	実施中	⑤-1
	⑤-B	下流水位(測量、跳水の計算)	基本的なデータ収集のため		
	⑤-C	河川流量	基本的なデータ収集のため		⑤-1
	⑤-D	漏水量の計算	基本的なデータ収集のため		⑤-1
	⑤-E	流入・流出部分のモニタリング(ドローン、カメラ)	基本的なデータ収集のため		⑤-2

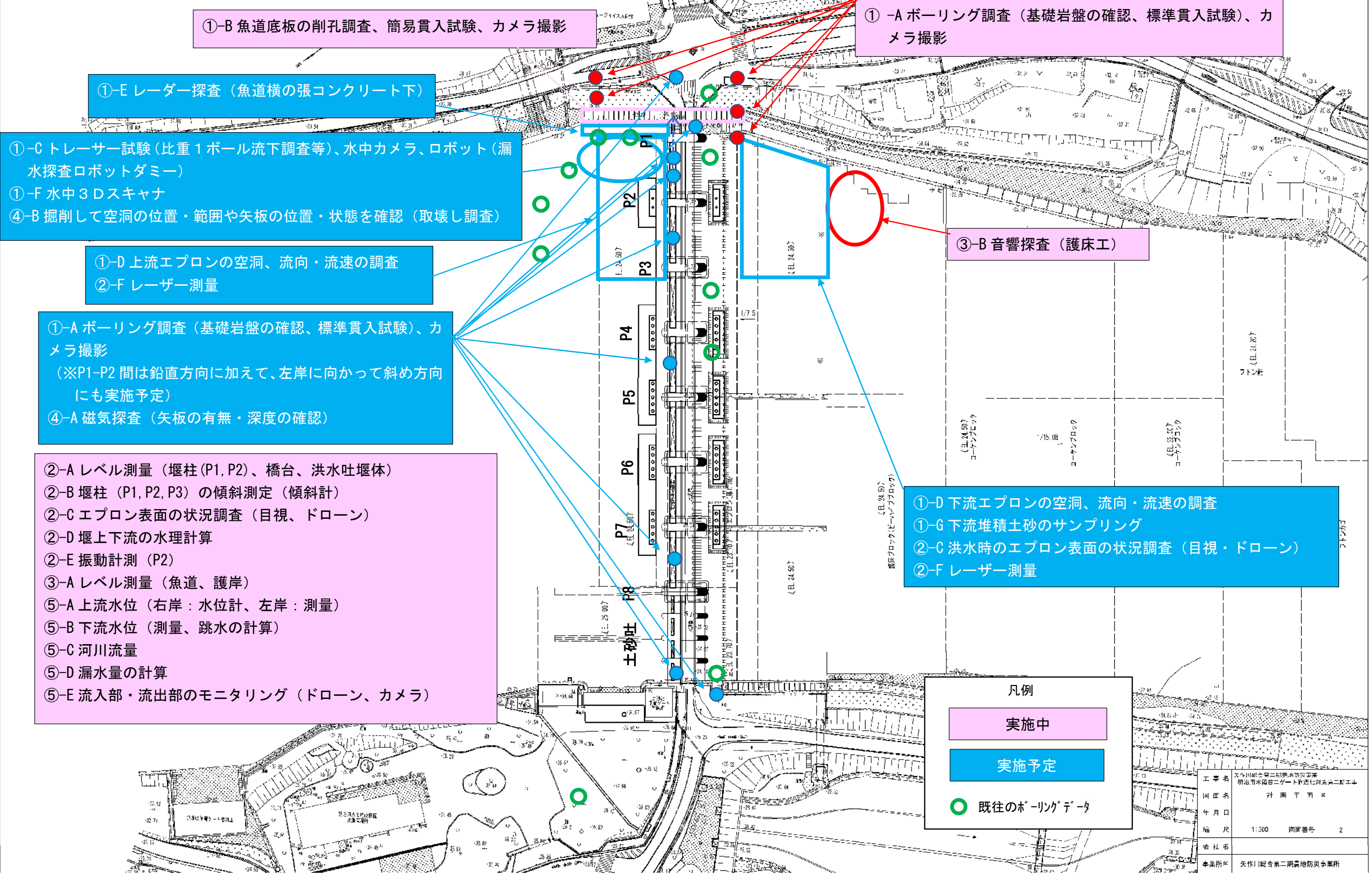
※水中カメラ調査、検尺棒による調査は作業場所が危険なことなどから中止。

※水中ドローン調査は空洞の形状が不明であり崩落の恐れがあることなどから困難。

計画平面図

S=1:500

各調査の実施場所（案）



①-B 魚道底板の削孔調査、簡易貫入試験、カメラ撮影

①-A ボーリング調査（基礎岩盤の確認、標準貫入試験）、カメラ撮影

①-E レーダー探査（魚道横の張コンクリート下）

①-C トレーサー試験（比重1ボール流下調査等）、水中カメラ、ロボット（漏水探査ロボットダミー）
①-F 水中3Dスキャナ
④-B 掘削して空洞の位置・範囲や矢板の位置・状態を確認（取壊し調査）

③-B 音響探査（護床工）

①-D 上流エプロンの空洞、流向・流速の調査
②-F レーザー測量

①-A ボーリング調査（基礎岩盤の確認、標準貫入試験）、カメラ撮影
（※P1-P2間は鉛直方向に加えて、左岸に向かって斜め方向にも実施予定）
④-A 磁気探査（矢板の有無・深度の確認）

①-D 下流エプロンの空洞、流向・流速の調査
①-G 下流堆積土砂のサンプリング
②-C 洪水時のエプロン表面の状況調査（目視・ドローン）
②-F レーザー測量

②-A レベル測量（堰柱(P1, P2)、橋台、洪水吐堰体)
②-B 堰柱(P1, P2, P3)の傾斜測定（傾斜計）
②-C エプロン表面の状況調査（目視、ドローン）
②-D 堰上下流の水理計算
②-E 振動計測（P2）
③-A レベル測量（魚道、護岸）
⑤-A 上流水位（右岸：水位計、左岸：測量）
⑤-B 下流水位（測量、跳水の計算）
⑤-C 河川流量
⑤-D 漏水量の計算
⑤-E 流入部・流出部のモニタリング（ドローン、カメラ）

凡例

実施中

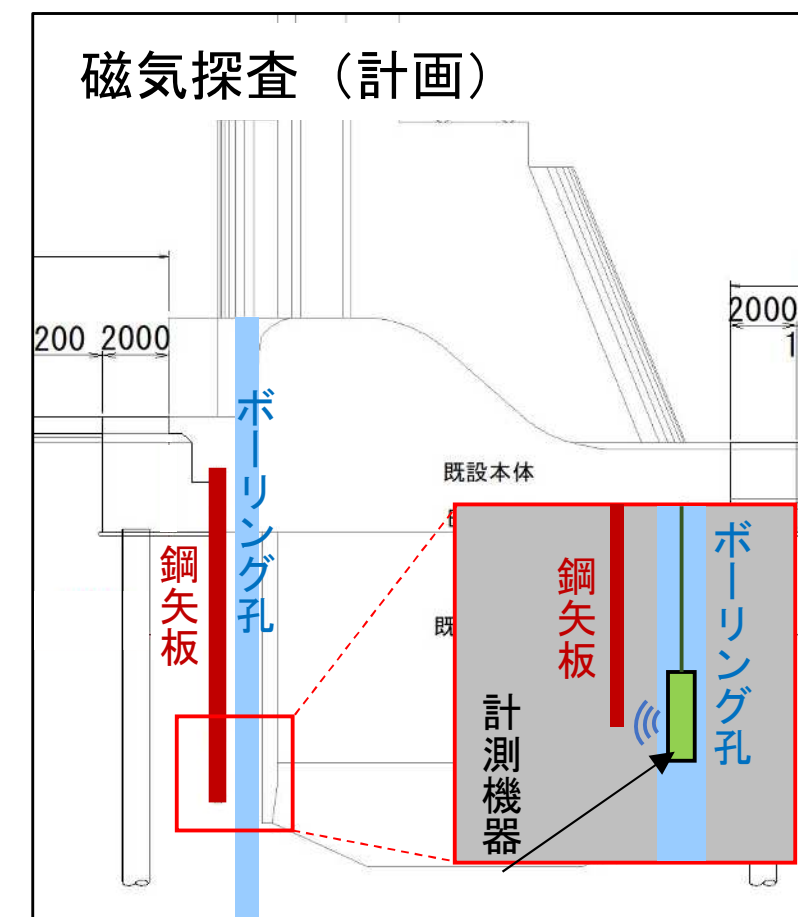
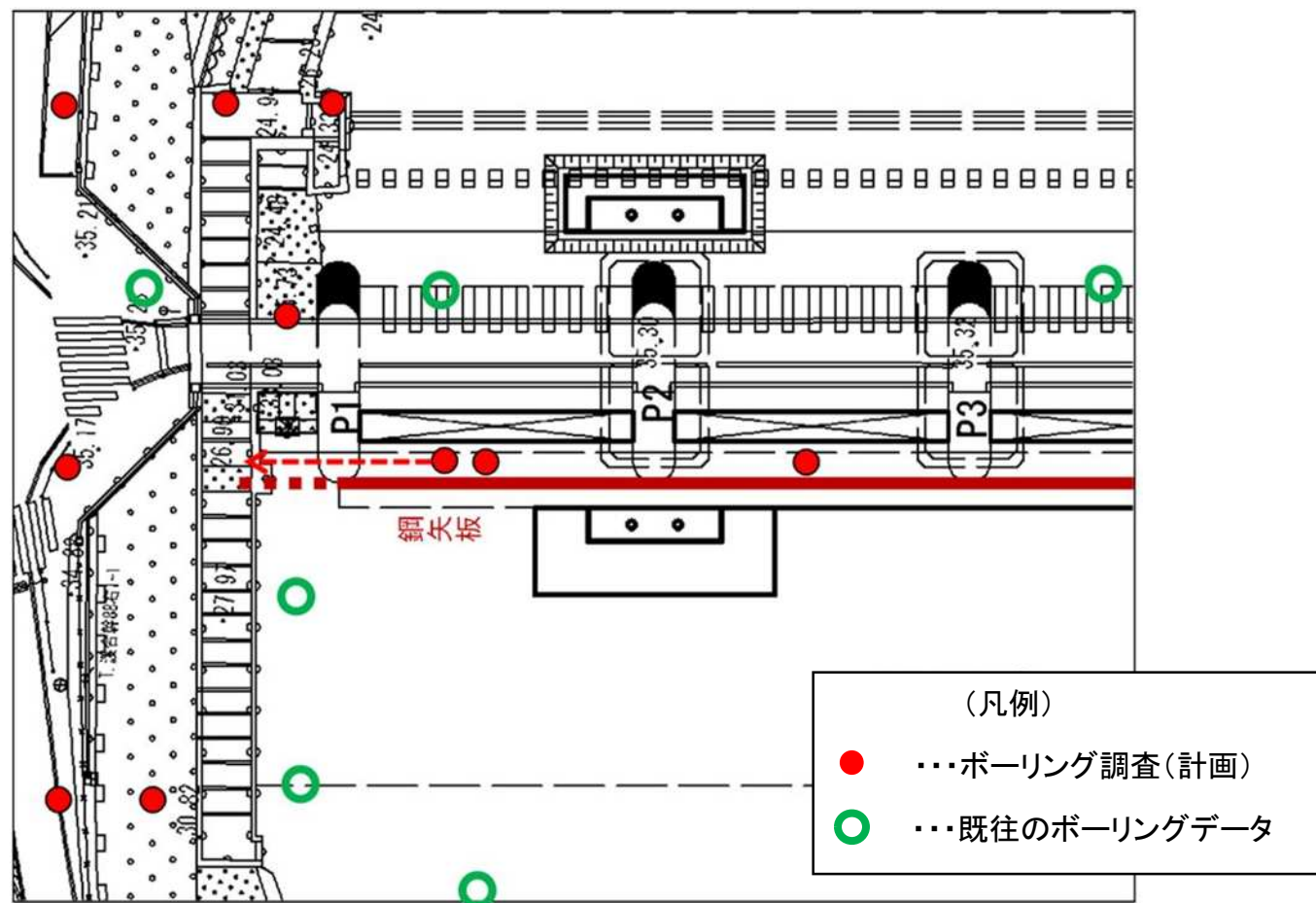
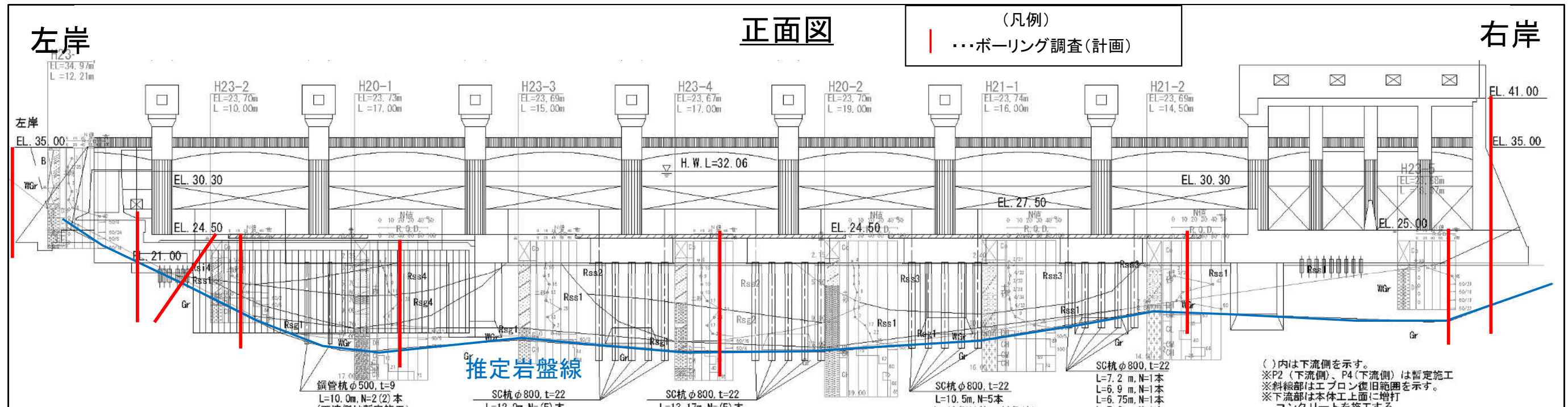
実施予定

○ 既往のボーリングデータ

工事名	矢作川総合第二期治水防犯事業 明治市水防百ニゲート新設化対策第二期工事
図面名	計画平面図
年月日	
縮尺	1:500 図面番号 2
会社名	
事業所名	矢作川総合第二期治水防犯事業所

正面図・平面図（左岸側）

- ボーリング調査（①-A）・・・基礎岩盤の深度を確認予定
- 磁気探査（④-A）・・・鋼矢板の有無、深度を確認予定



※P1-P2間のボーリングは、鉛直方向に加えて左岸に向かって斜め方向にも実施予定